

おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2021年4月号



今月の表紙

こにし まさゆき なおこ
小西 将之さん・奈保子さん
そうたろう ほのか ちひろ
湊太郎くん・帆花ちゃん・千洋ちゃん
(8歳) (4歳) (2歳)
(末崎町)

【特集】令和3年度事業計画・予算……	2～3
第7回まちもり大学……	4
第3回筋力測定会……	4
国家資格等取得支援金事業……	5
新採用職員を紹介します……	5
お知らせ……	6～7
輝き人……	8

3人兄妹これからも仲良く、優しく、元気いっぱいに育ってくれることがお父さんとお母さんの願いです。

誰もが お互いに支え合い 安心して暮らせる まちづくりの実現を目指して

令和3年度事業計画・予算

東日本大震災から10年が経過し、被災した世帯の住まいに関する課題はほぼ解消されている一方で、新しい環境での生活に課題を抱え、孤立や引きこもり状態にある住民が存在しているという現状があります。

また、新型コロナウイルス感染拡大により、生活実態は大きく変容し、減収による経済的な課題などを抱える人も少なくありません。

このような背景のもと、社会福祉協議会では、住民一人ひとりが心にゆとりを持ち、支えあい、安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、地域助け合い協議会を中心とする住民組織と連携し、住民や地域に根差した支えあい、助けあいの仕組みづくりに努めます。

また、個別の生活や経済的な課題を抱えた人に対する支援の強化を図ります。各種事業の推進においては、取組方法の見直しや、新たな取組方法を創出し、事業推進が停滞しないよう努めます。

令和3年度は、次の5つの事業を重点取組としています。

1 地域内で孤立した人への支援体制強化

困りごとを抱えていても、住民同士が支えあう地域づくりを進めるため、各種団体、行政、関係機関などと協働・連携しながら事業を推進します。

- (1)地域助け合い協議会との協働・連携
- (2)支えあいまちづくり推進会の開催
- (3)小地域ネットワーク活動の普及推進
- (4)おおふなと“おげんき見守りシステム”の普及推進（県社協事業）
- (5)地域福祉委員研修会の開催
- (6)生活支援事業の推進（県社協受託事業）
- (7)地域住民福祉活動の運営支援
- (8)災害支援金運営事業
- (9)歳末たすけあい事業

2 新型コロナウイルスの影響により困窮している世帯への支援強化

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、収入が減少している人への支援を強化するため、生活福祉資金の貸付に迅速に対応するとともに、自立に向けた計画的な生活スタイルの立て直しを図ります。

- (1)相談窓口の開設
- (2)生活困窮者の把握
- (3)一般企業への就労準備支援
- (4)生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託事業）
- (5)たすけあい金庫貸付事業の実施

3 子育て相談体制の強化

子育て支援に関する情報提供、短時間の子ども預かりシステムなどを通して、子育てにかかる親の心身負担軽減、解消を図り、安心して子育てできるよう支援します。特に、相談業務においては、気軽に相談できる仕組みの構築に努めます。

- (1)利用者支援事業の推進
- (2)地域子育て支援拠点事業の推進
- (3)ファミリー・サポート・センター事業の推進

4 他法人との連携強化

市内の社会福祉法人に参画を呼び掛け、情報交換や法人運営上の共通課題、地域課題の共有を図り、課題解決や地域公益活動の在り方について検討する機会を設けられるよう、連携を図りながら取組を進めます。

5 成年後見制度の利用促進に向けた取組強化

成年後見制度の利用促進に関する法律が施行されましたが、必要性を感じながらも利用に繋がっていない現状があることから、大船渡市と連携し、制度の理解・普及、利用申請手続きの支援などの取組を進めます。

- (1)大船渡市成年後見支援センター「まるさぼ」の運営（市受託事業）

令和3年度予算

住民の皆さんからの会費
4%
10,398 千円

参加費、利用料など
4%
11,400 千円

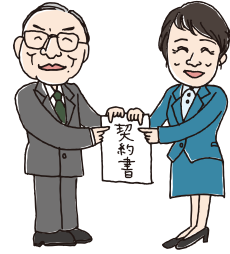
介護サービス事業の収入
21%
58,666 千円



共同募金
2%
6,725 千円

その他 (寄付金、繰越金など)
9%
23,593 千円

市や県社協からの補助金
13%
35,002 千円

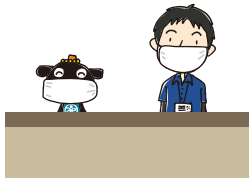


市や県社協からの受託金
47%
130,442 千円



収入
276,226 千円

法人運営のため
17%
46,671 千円



施設の管理や運営をするため
19%
50,887 千円

地域福祉を推進するため
42%
116,974 千円



介護サービスを提供するため
22%
61,694 千円



支出
276,226 千円

「学びたい」を形に 第7回まちもり大学



グループごとに意見を出し合い、次回の活動について話し合いました

3月21日(日)、おおふなぽーとで「第7回まちもり大学」が株式会社セキヤツセン大船渡とNPO法人おおふなと市民活動センターの主催により開催されました。

大船渡まちもり大学は、新たなコミュニティ形成に向けた学びの場を通じ、まちづくりの主役となる人材を育てようと1昨年の3月から開催し今年で3年目を迎えます。

今回は、前回までの成果を踏まえ、まちもり学で学びたいことを自ら選定・企画し、構成か

ら行動に移すことを目指し開催。高校生を始め幅広い年齢層の人が受講しました。

「高齢者や外国人のコミュニティを学ぶ取組」「子どもの貧困」「市役所や議会の役割」の3つのテーマに分かれ、各テーブルに集まった参加者で意見を出し合いました。議会がいつ開催されているのか、子ども食堂はあるのかなど質問を出し合いながら知りたいことをまとめ、発表を行いました。

その結果、今回は「地域に誇りを持つためのコミュニティづくり」「子どもが生き生きと暮らせるまちづくり」「見えるまちづくり」市役所・議員の実態を知ろう、提言しよう」の3つのテーマについて学ぶことが決まりました。今回初めて参加した大船渡高校の生徒は、「大船渡の発展のために真剣に考えている人達の話聞くことができ、とても勉強になった。今後も参加し、大船渡を盛り上げていきたい」と話してくれました。

目指せ、筋力アップ!! 第3回筋力測定会



1分程度で、筋力の測定が行えます

3月13日(土)、Y・Sセンターで第3回筋力測定会を開催し、46人が参加しました。1分間の測定で筋肉量、体脂肪量、水分量などがデータで表れ、結果をもとに参加者同士でトレーニング方法の情報交換やお互いの成果を評価し合うなど、交流の輪も広がっているようでした。

今回の筋力測定会では、参加者から多くの質問をいただきましたので、筋力測定会講師の株式会社三櫻の明内俊一さんに聞いてみました。

Q1 どんなトレーニングをすれば、体重を減らしたり、筋力を維持することが出来ますか？

A あまり無理をしないで、身体を壊すことがありませんので、1時間程度の運動(ウォーキングや筋トレ)を週2回程度継続して行いましょう。

Q2 Y・Sセンターのプール教室に参加してはいますが、なかなか変化がないのはどうして？

A 水泳は水が冷たいため、プール内での体操やウォーキングでは脂肪がつきやすくなります。そのためプールに入ったあとは、筋力トレーニングも併せて行うと効果が出やすくなります。

Q3 どれくらいトレーニングを継続すると効果が出るの？

A 1か月、2か月ではなかなか効果は出てきません。早くても1年間継続することで効果が出てきますので、継続してがんばりましょう！

福祉、介護人材の確保、定着の一助に 国家資格等取得支援金事業

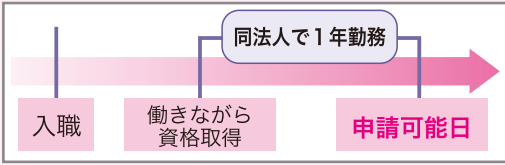
大船渡市社会福祉協議会では、例年、「国家資格等取得支援金事業」を実施しています。

この事業は、大船渡市内に本部がある社会福祉法人などに勤務する者が、職務に必要又は自身のスキルアップを目指すため、新たに国家資格等を取得した場合に支援金を交付するものです。昨年度は4人に支援金を交付しました。

対象国家資格等（表1）

社会福祉士／介護福祉士／介護支援専門員
作業療法士／理学療法士／保健師／
精神保健福祉士／保育士／看護師／准看護師
義肢装具士／言語聴覚士／公認心理士

対象、申請までの一例（表2）



- 支援金交付額
20,000円
- 対象
 - ・平成29年以降に福祉、介護に関わる資格（表1参照）を取得した者
 - ・資格取得後、同法人で1年以上勤務している者（表2参照）
 - ・大船渡市に住所を有する者、又は大船渡市内に法人本部がある施設に勤務している者（一部対象とならない場合があります）
- その他
 - ・国家資格などを取得後、同法人内であれば異動しても対象。
 - ・学生時代に取得した国家資格は対象外。

要綱、申請書については、大船渡市社会福祉協議会のホームページに掲載してありますのでご確認ください。また、その他不明なことがあれば大船渡市社会福祉協議会（27-0001）までお問い合わせください。

新たな仲間を加えて令和3年度スタート 新採用職員を紹介します



地域のみなさんのために笑顔と行動力でがんばります

社会福祉協議会では、今年度新たに2人の職員を採用しました。生活福祉課に配属された堺恵主事補にインタビューしましたので紹介します。

Q 出身地は？
A 大船渡市立根町です。

Q 日々の楽しみは？
A 4歳の双子の息子たちと野球をやることです。将来、プロ野球選手になってくれたら嬉しいです。

Q 社協で働こうと思ったきっかけは？

A 以前も地域住民のために働く職場にいましたが、子育てをするなかで障がいを持つ子などと接し、大変と思うだけでなく、違う方法で手を差し伸べていきたいと思ったのがきっかけです。

Q 担当業務は？
A 主に、子育て支援事業を担当します。

Q 今後の抱負を教えてください。
A 早く仕事を覚えて戦力になれるようにがんばります。私自身、二人の息子たちの母親です。子育て経験は4年しかありませんが、子育てをする親として喜びも悩みも共有し、力になれたらと思います。

***新規採用職員**

○生活福祉課主事補 堺恵
○介護支援専門員 佐々木紀子
このほか、理事13人、監事2人、評議員26人、職員69人で、「地域に頼られる社協」を目指し、事業を推進してまいりますので、今年度もよろしく願っています。

- (1)つどいの広場の利用予約
- (2)育児相談
- (3)子育てイベントのお知らせ
- (4)子育てイベントの予約



LINE ID @046ghkgo

***岩手県福祉人材センター情報**

介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます。申込み、問い合わせは下記までご連絡ください。

介護のしごと相談日程（5月）

開催日	場 所	時 間
10日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
11日(火)	おおふなぼーと	午前10時～午後3時
13日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
17日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
20日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
24日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
27日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午

※11日(火)はお子様と一緒にご相談可能です。

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本
電 話 080-8201-0200
メール n-sakamoto.shakyo@mopera.net
※事前申込の方を優先させていただきます。

***Y・Sセンター情報**

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたY・Sセンター施設の利用制限について

今年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用制限を設けての開設となります。

(1)Y・Sセンター

午前9時～午後8時

(2)つどいの広場

午前の部 午前10時～正午

午後の部 午後1時～午後3時

※午後3時～午後4時は消毒時間のため利用できません。

施設名	人 数	時 間
プール	30人以内 (幼児用プール含む)	2時間以内
浴室	男女6人以内	2時間以内
トレーニング室	6人以内	1時間以内

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルスの感染状況により中止となる可能性があります。

***子育て支援事業情報**

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。参加には事前申込みが必要です。

つどいの広場イベント日程（5月）

開催日	内 容	時 間
6日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後2時50分
13日(木)	ぼうさいカフェ	午前10時20分～午前11時50分
20日(木)	子育て相談の日	午前10時～午後2時50分
	ハローワーク出張お仕事相談会	午前10時～午前11時30分
27日(木)	栄養相談会	午前10時20分～午前11時50分

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日 時 毎週火曜日

【午前の部】午前10時～午前11時50分

【午後の部】午後1時～午後2時50分

※消毒作業のため正午から午後1時は入室できません。

場 所 おおふなぼーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、5月19日(水)（午前10時～午前11時50分）に開催します。

子育て支援LINE公式アカウント開設

子育て支援事業でLINE公式アカウントを開設しました。自宅にいても気軽に情報を得ることができ、相談することもできるようになりました。ぜひご利用ください。

令和3年2月福島県沖地震災害義援金の募集について

令和3年2月13日に発生した福島県沖地震により、福島県内では多数の住家被害が発生しました。

大船渡市共同募金委員会では、被災された人々に対する義援金を受け付けています。

受付期間 2月24日(水)～5月31日(月)

受付場所 大船渡市Y・Sセンター

その他 救援物資、物品は取り扱いません。

*その他

寄付・寄贈物品受入(3月) (敬称略)

復興支援金

柴田 桂子

横浜市中区災害ボランティア連絡会準備会

指定寄付

NTT 東京・山梨グループ社会福祉を進める会(復興支援のため)

株式会社 NTT 東日本一南関東(復興支援のため)

株式会社 NTT-ME(復興支援のため)

株式会社 NTT-BA 東日本(復興支援のため)

株式会社 NTT 東日本サービス(復興支援のため)

テルウェル東日本株式会社(復興支援のため)

福祉基金

互野 和郎

寄贈物品

伊東 久美(食料品)

株式会社ダイナム(食料品)



「車椅子～下り坂編～」

急な下り坂は後ろ向きで下りますが、坂道が急勾配であることや、進行方向が見えないため、介護を受ける人の恐怖心も倍増します。介護者は足元、後方に注意を払いながら、両足を大きく開きゆっくりと下りていきます。

このコーナーに関するお問い合わせ先

大船渡市社会福祉協議会介護ステーション

電話 0192-27-1003

つどいの広場(遊戯室)	15人以内	2時間以内
ワークセンター	25人以内	2時間以内
小会議室	10人以内	2時間以内
大会議室	20人以内	2時間以内

※なお、日曜日・祝日の遊戯室の開放は当面の間見合わせます。

鯉のぼり子どものつどい中止について

例年5月5日のこどもの日に開催している「鯉のぼり子どものつどい」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止となりました。

なお、中止に伴い本イベントにて配布予定としていたカブトムシの幼虫(ペア)を差し上げます。希望する人は下記までご連絡ください。

※数に限りがありますので、希望者多数の場合は申込順となります。

お問い合わせ先

大船渡市社会福祉協議会 担当 堺

電話 0192-27-0001

Y・Sセンター特別開館終了のお知らせ

令和元年度より、定例休館日の月曜日が、祝日、休日の場合、特別開館日として施設の開放を行ってきましたが、令和2年度をもって終了としました。

我が家のペット



我が家の「あいちゃん」

お外に出るのが好きなあいちゃん。これからも元気でいてね!!

赤崎町 りんりん

投稿写真大募集!

①写真データをメールする

メールに画像を添付して送ってください。



②写真を郵送する

宛先は8ページに掲載しています。

①・②共通

- 一言説明コメント
- 名前(ペンネーム可)
- 住所(町まで可)を必ず添えてください

次号締め切り

5月6日(木)

輝き人

こむろ しのぶ
小室 忍さん(47歳)

大船渡町在住。NPO 法人 NOWBELBE (ナウベルビー) が運営する就労継続支援 A 型事業所「海の碧」と放課後等デイサービス「空の青」のサービス管理責任者として5月から従事。



だれもが自分らしく働ける社会へ

○自分のできること

高校時代、将来について悩んでいた時、進路指導の先生から福祉の道へのすすめがあり、そこから自分も福祉について興味を持つようになり、数ある福祉の領域の中でも障がいを抱える子どもたちへの支援に興味を持ち、千葉県にある淑徳大学で障がい児教育を専攻しました。

大学卒業後は、神奈川県で自閉症専門の施設の立ち上げや運営に携わりました。

実際に開所してみると、自閉症の方々とのコミュニケーションで、声掛けの仕方や説明の仕方など、自分に足りない部分が見えてきました。そこで、自閉症の方々への理解を深めるために、同じ目線、立場で物事を考え、行動することを心がけるようにしました。その結果、少しずつ心を開いてくれるようになり、コミュニケーションもスムーズに図れるようになりました。

○自分だからできること

この経験が、自分の働く上での大きな礎となり、自らの学びで視野を広げ、障がいがある人と共に生きる地域社会を作っていきたいと考えるようになりました。

今年、リハビリ特化型デイサービスなどを展開しているロッツ(株)が、赤崎町にNPO法人NOWBELBE(ナウベルビー)を立ち上げました。その団体が障がい者の働く場を提供する「就労継続支援A型サービス」と、障がいのある子どもが利用できる「放課後等デイサービス」を併設した多機能型事業所を開業することを知り、地域で共生社会を実現したいという思いから、施設のサービス管理責任者として5月から働くことになりました。

○だれでも働くことができる社会を目指し

就労継続支援A型サービスでは、

雇用契約を結び一般就労に近い形で、賃金もお渡しします。活動内容については、ロッツ(株)で運営している、カカオブローマのチョコレート製造工程に関わる仕事と、農業に取り組み、利用者と一緒に九条ネギを育て出荷していく予定です。この就労を通して働く楽しさや、自分が育てた野菜がお客様の食卓に並び喜び、また就労収入を得る喜びなどを感じてもらえたらと思います。

放課後等デイサービスは、子どものための機能だけではなく、子育てのために働くことを諦めていた人が、もう一度自分らしく働けるように、背中を支えられるような事業所になれたらと考えています。

○共に歩む

障がいというハンディによって、社会や地域から孤立するのではなく、だれもが支え合える共生社会の実現のために、自分が関わることで、利用者や利用者の家族が抱えている悩みを一つでも減らしてもらいたい、同じ地域で一緒に歩んでいけたら、とても幸せです。